

9月9日は「救急の日」

9月9日を含む9月3日(日)から9月9日(土)までの1週間は、「救急医療週間」です。「救急の日」および「救急医療週間」は、救急医療や救急業務について、皆さんに理解と認識を深めていただき、救急医療関係者の意識高揚を図るために定められました。

救急講習のご案内

そばにいるあなたが 最初の救急隊！ 病气やけがは、いつ起こるか わかりません。家族や身近な人



昨年、ホテルパラダイスヒルズで行われた救急講習会の様子

が突然目の前で倒れた時、救命処置を適切に行うことができれば、救える命があります。救急講習で大切な命を救うため、AEDの使用法や心肺蘇生法を肌で感じてみませんか？

日時

9月7日(木) 午前10時半～11時半

場所

子育て支援センター「スキップ」

内容

救急隊によるAEDの取り扱い、心肺蘇生法や応急処置などの講習

レンタル用AEDのお知らせ

消防署では、町内会行事や各種スポーツ大会、イベント開催時の救命活動に備えるため、AED(自動体外式除細動器)の貸し出しを行っています。

申請方法

申請書(消防署に備え付け)に必要事項を記入の上、消防署まで提出

問い合わせ

南空知消防組合消防署生活安全課 ☎0150

平成の街に…六百数十年前の聖徳太子像が?

町内の各寺を調査中、光明寺本堂で「聖徳太子二歳像」を発見しました。日本の夜明けである千四百数十年前、聖徳太子は飛鳥時代の摂政で、17条憲法制定や遣隋使派遣をして、仏教導入に尽力しています。聖徳太子は、信仰対象として鎌倉時代に建築職人などの守護神としてまつられ、その太子講が各地に広まりました。

▽光明寺百年誌などには、太子堂の興味深い記録があります。大正12年、中越懇話会有志が富山県井波町の名刹「端泉寺」に寄進し、「聖徳太子二歳像」下附(原文)願書を提出しています。同14年、村上太作などが瑞泉寺へ出向き、伝来する宝物の太子像3軀の1軀を下附されました。昭和16年、聖徳太子奉賛協議会が太子講活動を展開、同26年に太子堂建築委員会設立、同28年8月6日に光明寺境内に太子堂が完成しました。しかし、半世紀を経て御堂の老朽が著しく平成20年に解体。太子像は、本堂内陣に遷座されました。▽この「聖徳太子二歳像」は、後



聖徳太子二歳像

小松天皇より端泉寺へ下賜され、年代および諸資料から約620(650)年前、室町時代の仏師「康俊」運慶曾孫」作であると記録されています。▽光明寺の太子像は、童子の愛らしさと英邁な智慧の輝きを備え、背景に鎌倉時代の宗教上の太子幼年期を敬慕する思想がうかがい知れます。今後、詳しい調査から、歴史的文化的な価値ある希少な「聖徳太子二歳像」と信じます。▽ふるさとの先人が慈しんだ「聖徳太子二歳像」は、大正・昭和・平成まで静かに見守り続ける庶民仏教史の象徴です。はるか600数十年前、室町幕府を開いた日本文化原型とも言える聖徳太子像は、わが街の未来に新たなふるさと価値を資すれば幸いです。(高倉)

問い合わせ

栗山町史編さん室 ☎7820

鮭の遡上は「誇れる地域の宝」

一般社団法人栗山青年会議所の池下雄介です。さて、栗山青年会議所では9月2日(土)に「夕張川関連事業ほ



くらの故郷夕張川クリーン大作戦!」地域の素晴らしさを知ろう!」を行います。毎年、多くの方々に参加して

いただいたいる当事業ですが、地域の皆さんをはじめ関係諸団体、行政などが一体となり、今年で10回目の大きな節目を迎えることができます。この場をお借りし、あらためて感謝申し上げます。

例年、雨煙別川では「サケ稚魚放流」を行っており、今春も約1万匹を放流しました。食卓でも馴染みのある「鮭」ですが、一般に稚魚放流から故郷の川に戻ることでできる鮭の成魚は約3%と言われ、ここ雨煙別川でも日本海より毎年30匹程度の鮭が産卵のため遡上してきていますと考えられています。

「地元の河川に鮭が遡上する」ということは、鮭に馴染みのある北海道人にとってはそれほど珍しいことではないかもしれませんが、全国的にみるとそれは「特別」なことであり、またわれわれ栗山青年会議所も、この「誇れる地域の宝」を継続して紡いでいかなければならないという使命感を抱いています。

残念ながら、10年目を迎えた今も、鮭の産卵場所とされている場所では多くの不法投棄をはじめとする「ごみ」が存在し、自然環境を悪化させていると同時に、遡上してきた鮭の産卵も妨げています。

平成27年に72年ぶりに鮭が遡上してきた「感動」をこれから地域で共有するため、そして「鮭が遡上する栗山町」を子どもたちの誇りにしてもらおうため、私たちはこれからも活動していきます。

今年も、皆様のご理解とご協力をお願いします。

全国各地で栗山町をPR!

こんにちは、石井です。月日が流れるのは早いもので、私が地域おこし協力隊として栗山町に引越してきてから1年半が経とうとしています。と同時に、協力隊でいられる期間は3年ですので、もうすぐ折り返し地点ということになります。

そんな折り返し地点が見えてきた最近の活動は、インターネットを活用した町のPRのほかに、実際に各地に出向いてPRする活動をたくさん行っています。

7月には福岡県博多市の飲食店で「北海道クரியアマナイト」というイベントを開催しました。実際に町の特産品を召し上がっていただいたり町の魅力を紹介したりしてきましたので、きつと九州に栗山ファンが増えたことでしょう。

また、今月の2日と3日には東京ビックサイトではふるさと納税のイベントが開催されますので、そちらにも出展して町のP



小林酒造の日本酒がお気に入りです

Rや新たな寄附者の獲得につなげてきたいと思っています。

さらに今月末には東京の代々木公園で開催される「北海道産直フェア」や、10月には横浜で開催される「東京湾大感謝祭」にも出向いて、一人でも多くの人に栗山町のファンになつてもらえるように宣伝していきます。9月に入り、朝晩の気温が下がってきました。「暑さ寒さも彼岸まで」ということわざがありますが、北海道の場合は暑さはお盆までだと感じます。季節の変わり目となりますので、ご自愛くださいませ!

安全で安心なまちを目指して



【問い合わせ】
町住民生活課
生活安全グループ
☎ 73-7510

ストップ・ザ・交通事故
秋の全国交通安全運動
9月21日(木)
～30日(土)

◆ケガをするのは1・2年生が最も多い
◆9月・10月に事故が多発している

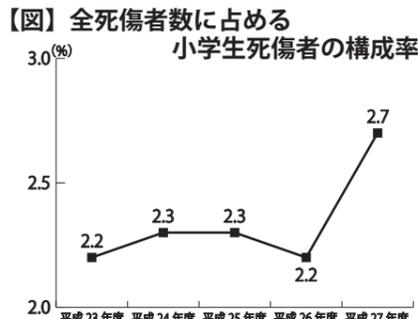
◆夕暮れ時と夜間の歩行者・自転車乗用中の交通事故防止(特に、反射材用品などの着用の推進および自転車前照灯の点灯の徹底)

◆後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
◆飲酒運転の根絶

小学生の交通事故実態

過去5年(平成23～27年度)の全道統計分析を見ると、全死傷者に占める小学生の交通事故死傷者の構成率は、平成27年度に増加しています(図のとおり)。また、分析を通して次のことがわかります。

◆道路横断中の事故が多く、横断歩道以外での事故が4割以上
◆自宅付近(500m以内)の事故が6割を占める



【表】小学生死傷者数

年度	全死傷者数	うち小学生
平成23年度	19,541人	425人
平成24年度	17,849人	408人
平成25年度	15,764人	355人
平成26年度	13,905人	311人
平成27年度	13,562人	363人

◆小学生側の違反は「飛び出し」が最も多い
◆このような小学生の事故の特徴を踏まえ、次のことをみんなで実践し、児童の悲惨な交通事故を防ぎましょう。
◆子どもたちに交通ルールやマナーを教える
◆登下校時間の運動には特に注意する
◆大人が子どもの見本となる交通ルール・マナーを守る

ごみ分別へのご協力をお願いします



お知らせします 資源ごみ出荷・売却状況

昨年度は、家庭および事業所から出されるごみ排出量のうち、約34%にあたる1104トンが資源ごみとして町内外のリサイクル業者へ出荷されました。

その売却額(表のとおり)は、貴重な財源として、ごみ処理業務に充てられています。

資源ごみの内訳はグラフのとおり、新聞紙や段ボールなどの紙類が44%で一番多く、その次にプラスチック類



資源リサイクルセンターでのびん・缶の分別作業

【表】平成28年度 資源ごみ売却額内訳

ごみの種類	売却額 (円)
缶類	664,000
ペットボトル	522,500
プラスチック類	761,336
紙類	956,980
金属類	35,120
廃油	133,000
古布	33,053
合計	3,105,989

紙類が20%、びん類が13%と続いています。いずれの資源ごみも、きれいな状態でなければリサイクル業者に引き取ってもらえません。汚れが残っている資源ごみは、資源リサイクルセンターで「人の手」により洗浄や再分別が行われています。

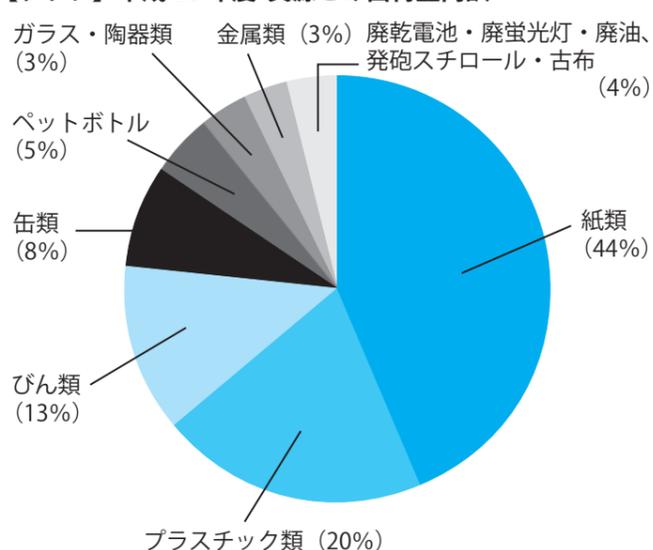
資源ごみを出す際には、汚れを落とすひと手間について、町民皆様のご協力をお願いします。



汚れた資源ごみがないか確認している様子

【問い合わせ】
町環境政策課
環境政策グループ
☎ 73-7511

【グラフ】平成28年度 資源ごみ出荷量内訳



【ごみ処理施設見学会】

10月20日(金)に、「ごみ処理施設見学会」を行います。実際にごみの処理施設を見学していただくことで、町民の皆さんにごみ分別などに対する理解を深めていただきたいと思いますので、ぜひご参加ください。
※申込時期など詳細は、町広報10月号でお知らせ

堆肥「栗肥土」秋の特別販売

町では、今年も「栗肥土」秋の特別販売を行います。秋の特別販売は、5袋購入された方に1袋プレゼントの特典付きです。ぜひ、この機会にお買い求めください。

【日時】10月7日(土) 9:00～11:00
【場所】役場駐車場車庫前
【価格】1袋(10kg) 300円
【販売数量】500袋
※無くなり次第終了



空き店舗活用支援事業 補助制度のご案内

町では、駅前通りなどの空き店舗を活用する方に対し、開業までに伴う経費の一部を補助します。

【対象区域】駅前通りほか(対象区域図参照)
【対象となる建物】対象区域でかつて事業に使用されていた店舗など
【補助対象者】年260日(通年営業)以上営業できる新規に出店する個人または法人
【対象経費】空き店舗改修、備品購入、駐車場整備など、開業までに要した経費
【補助率・補助金額】対象経費の2分の1以内とし、限度額は150万円

※ただし、補助金交付額のうち2割をくりやまギフトカードで交付

【事業実績】平成28年度は、この事業で2店舗に補助金を交付
【対象期間】平成32年3月31日まで
【申込先・問い合わせ】町ブランド推進課 ☎ 73-7516

